



## 家保通信

平成17年度 第6号

熊本県天草家畜保健衛生所

TEL 0969-22-3668

FAX 0969-24-4393

<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>

## 学校飼育動物の現状と家保の取り組み

近年、情操教育の一環として教育現場で動物の飼育が定着する一方、高病原性鳥インフルエンザなど動物由来とされる感染症の発生があり、学校での飼育動物に対する心配や不安が多少見受けられます。

このような状況の中、飼育に携わる者や周辺の畜産経営への衛生上の影響も考えて、熊本県では平成12年度から**動物由来感染症監視体制整備（教育現場型）事業**に取り組み、管内の教育施設を対象に、学校飼育動物に関する実態調査を実施し、飼育実態や衛生状況などを把握し、衛生意識の啓発活動を行っています。

### 取り組み内容

実態調査として飼育施設および飼育動物の立ち入り調査を実施し、家禽類とウサギの糞を用いて、食中毒の原因菌の検査と、寄生虫検査を実施しています。また同時に飼育舎消毒方法、疾病対策など衛生指導を行っています。

アンケート調査として、飼育管理者である学校の教員の方々の抱えている問題や意識を調査しています。

その他、学校での児童や教員を対象とした講習会、10月に熊本県獣医師会天草支部主催により天草保健所で行われた動物愛護まつりへの協力参加などにより、一般的な動物由来感染症や高病原性鳥インフルエンザに対する啓発活動を実施しています。

さらに、教育委員会・地元獣医師会および保健所など関係機関を講師とした学校関係者への講習会も開いています。



消毒実習風景

## 調査結果

調査の結果、サルモネラ、カンピロバクターなどの人の食中毒の原因菌は、分離されませんでした。コクシジウムなどの寄生虫については、一部認められましたが重度寄生例はなく、血便などの症状も見られませんでした。なお、寄生例については駆虫を行いました。

アンケート調査の結果、22%の学校で病気が起こっている事や、教員の方々の情操教育面での意識が高い反面、衛生飼育管理面での意識がまだ低い事がわかりました。また、教員の方々の抱える問題として、病気の時の相談先が無い事や、予算の問題、長期休暇中の飼育などがあることがわかりました。

今後は・・・



講習会風景

この事業を通して、教育現場での飼養動物の清浄性の確認ができ、教育現場での様々な問題点が分かってきました。これに対し教育現場での衛生意識の向上と、関係機関との協力体制構築のためのさらなる基礎作りを行っていきます。

今後も、我々家保は、次代を担う子供達が安全・安心な動物とのふれあいができるように取り組んでいきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



11/7 苓北町立登呂々小学校 飼育舎前にて